

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 10 日

（宛先）高崎市長 殿

提出者

住 所 高 崎 市 末 広 町 4 1 番 地 1
氏 名 医 療 法 人 刀 陽 会電 話 番 号 理 事 長 綿 貫 文 夫
電 話 0 2 7 - 3 2 2 - 2 2 0 6 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	医療法人刀陽会 綿貫病院
事業場の所在地	群馬県高崎市末広町41番地1
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

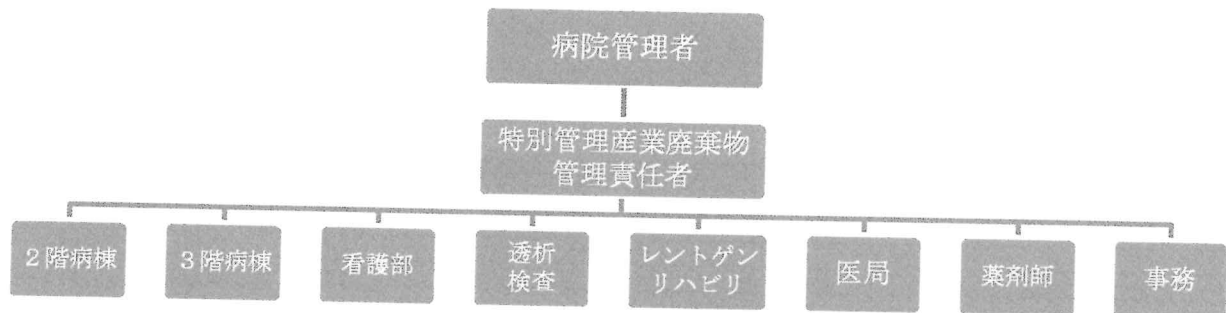
①事業の種類	医療業
②事業の規模	病床数 80床
③従業員数	98人（令和8年3月末現在）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性廃棄物の発生 ↓ 保管庫にて保管 ↓ 委託 収集運搬業者が定期的に回収 ↓ 委託 中間処理業者にて焼却処理 ↓ 委託 最終処分業者にて管理型埋立処分



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	排出量	50.798 t	— t
	（これまでに実施した取組） 他の廃棄物との分別を徹底する。感染対策を強化しており、削減が難しい。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	排出量	49 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 現状通り。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） バイオハザードマーク赤色（液状、泥状物）：プラスチック容器 バイオハザードマーク黄色（鋭利物）：プラスチック容器 バイオハザードマーク橙色（固形状物）：ダンボール容器
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状通り。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	—	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	—	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—	
	全処理委託量	50.798 t	—	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	—	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	—	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	—	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	—	t
	(これまでに実施した取組) 委託業者への処理確認の聞き取り実施。 ISO14001 取得業者に委託。			

郵政附屬政令市名: 高崎市

1/11